

再生エネ仕組み 体感

葵が丘小で エネジン授業



太陽光パネルを設置する児童たち
＝浜松市中区の葵が丘小学校で

ガス販売の「エネジン」（浜松市中区）が二十一日、浜松市葵が丘小学校の五年生六十人に自然エネルギーの仕組みを知ってもらおうと出前授業を開いた。太陽光パネルを組み立て、その電力で家電製品を動かした。

エネジンは八年前から市内の小学校で出前授業を開いている。児童は社員の手ほどきを受けながら、屋根を模した枠組みに太陽光パネル四枚をねじで固定した。パネルの導線を家庭用の電力に変換する装置につなぎ、扇風機やCDラジカセを動かした。

パネルにブルーシートをかぶせると家電製品の動きが止まり、児童から驚きの声が上がった。谷高瑠那さん（こは）は「今まで太陽光パネルを見たことがなく、本当に扇風機が動いてびっくりした」と話した。

（高島碧）

2021年（令和3年）10月23（土）中日新聞